資料3

内閣サイバーセキュリティセンター
National center of Incident readiness and Strategy for Cybersecurity

2023年度 分野横断的演習の実施結果について

内閣サイバーセキュリティセンター
重要インフラグループ
2024年2月22日

2023年度 分野横断的演習について

1. 目的

- 各重要インフラ事業者等において、**自組織の障害対応体制の有効性を検証・改善する**とともに、内閣官房（NISC）と重要インフラ所管省庁等が連携し、**演習を通じて得た知見・課題を踏まえて演習その他の施策の改善を図る**こと。

2. 演習の概要

- **机上演習**で実施（集合会場と自職場（テレワーク含む）のハイブリッド形式）

- **演習シナリオ**について、最新のサイバー情勢等を踏まえ、インシデント対応における**経営層の参画**や**取引先等を含むサプライチェーンリスク対策を踏まえた状況付与**を実施。
  - ① 重要インフラ事業者等が**ランサムウェア攻撃**を受けた結果として、自組織のシステム障害が発生し、**関係先（重要インフラサービス提供先を含むサプライチェーン）に影響を与える**とともに、システム障害の原因究明や復旧対応に数日間を要することを想定。
  - ② **組織統治の一部としてのサイバーセキュリティを実践**するため、「重要インフラサービス提供レベルの低下」、「ステークホルダーへの広報」等の**経営判断を伴うインシデント対応**を想定。

- 演習当日の集合会場において、演習参加者等同士が有識者も交えて**対面で意見交換を行う座談会**を開催し、重要インフラ事業者等間の**平時からの情報共有体制の構築を促進**。

3. 参加者

- 重要インフラ事業者等
  （情報通信、金融、電力等の14分野）
- 重要インフラ所管省庁
  （金融庁、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省）
- 事案対処省庁　（警察庁、防衛省　※2023年度初参加）
- サイバーセキュリティ関係機関　（IPA、JPCERT/CC）
- 2023年度実績：集合会場とオンライン参加を合わせて**6,574名**、**819組織**
  ※疑似体験プログラム参加を含む


開会式にて挨拶を行う河野大臣（2023年度）


集合会場の模様（2023年度）